

湖西市津波避難計画

平成26年3月版 説明資料

湖西市危機管理課

これまでの経過

東日本
大震災
H23.3.11

湖西市津波
避難計画
H23.12版

南海トラフ
巨大地震
(内閣府)
H24.3.31

湖西市津波
避難計画
H24.7改訂

静岡県
第四次地震
被害想定
(静岡県)
H25.6.27

湖西市津波
避難計画
H26.3版

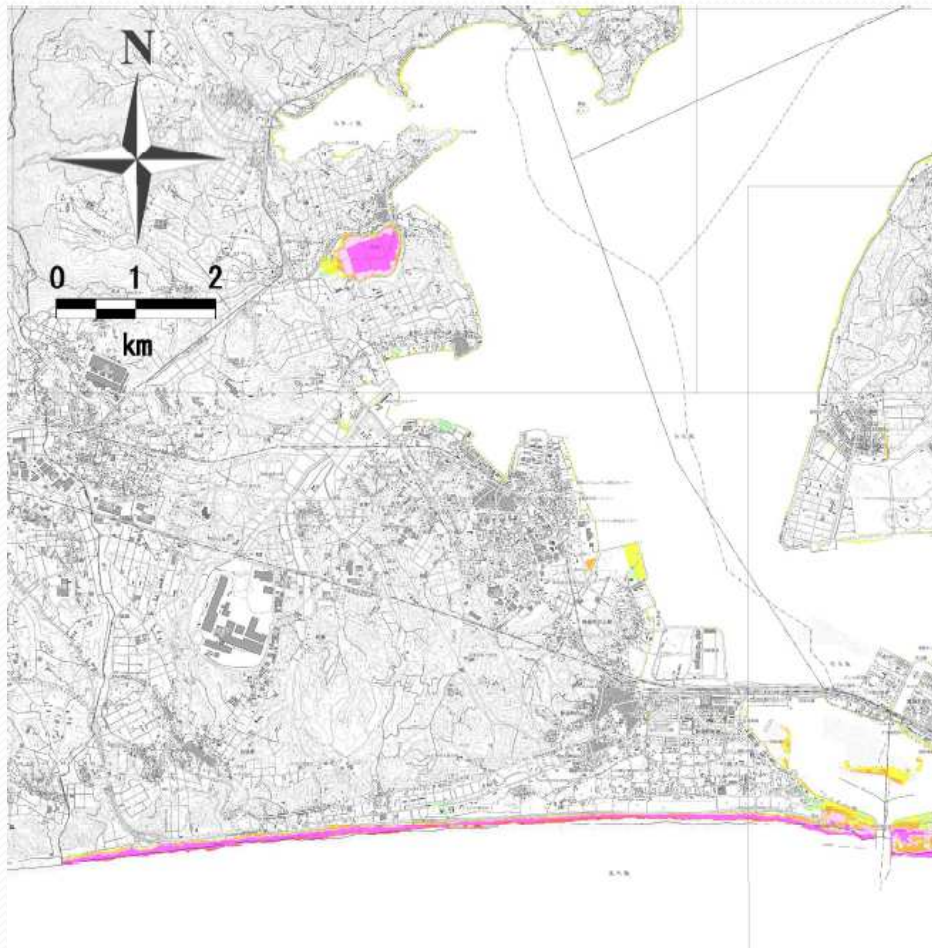
南海トラフ巨大地震想定

- 内閣府の資料より抜粋
 - あらゆる可能性を考慮した最大クラスの巨大な地震・津波を検討＝科学的知見に基づき、南海トラフの巨大地震対策を検討する際に想定した最大クラスの地震・津波
 - 次に必ず発生するというものではなく、現在の知見では発生確率を想定することは困難であるが、その発生頻度は極めて低い＝現在の科学的知見の下で、今回推計し設定する最大クラスの地震・津波の発生確率、そしてその発生時期の予測をすることは不可能に近い

静岡県第四次地震被害想定

- 南海トラフ巨大地震の被害想定(内閣府)を受けて県が作成
 - レベル1の地震・津波
 - 発生頻度が比較的高く(駿河・南海トラフでは約100～150年に1回)、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波
 - レベル2の地震・津波
 - 発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波

レベル1の津波



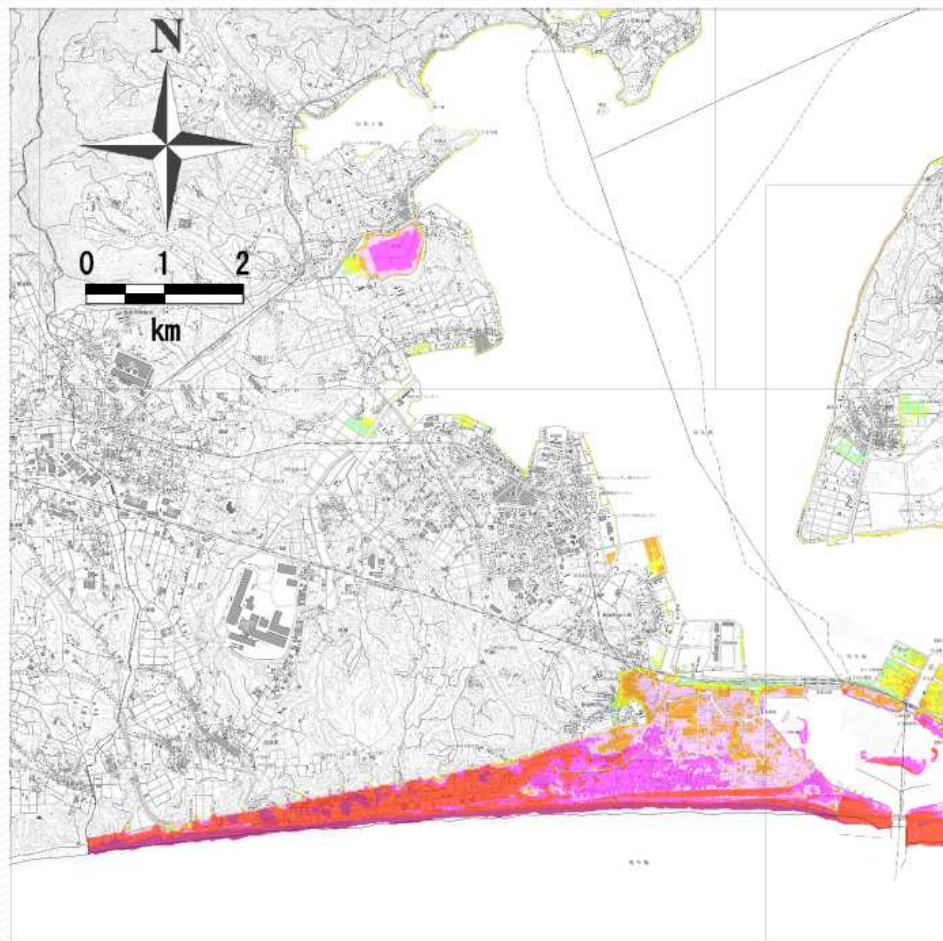
最大浸水深(m)

20	以上
10	～ 20
5	～ 10
3	～ 5
2	～ 3
1	～ 2
0.3	～ 1
0.01	～ 0.3

レベル1の地震・津波

発生頻度が比較的高く(駿河・南海トラフでは約100～150年に1回)、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波

レベル2の津波



最大浸水深(m)

20	以上
10	～ 20
5	～ 10
3	～ 5
2	～ 3
1	～ 2
0.3	～ 1
0.01	～ 0.3

レベル2の地震・津波

発生頻度は極めて低いですが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波 

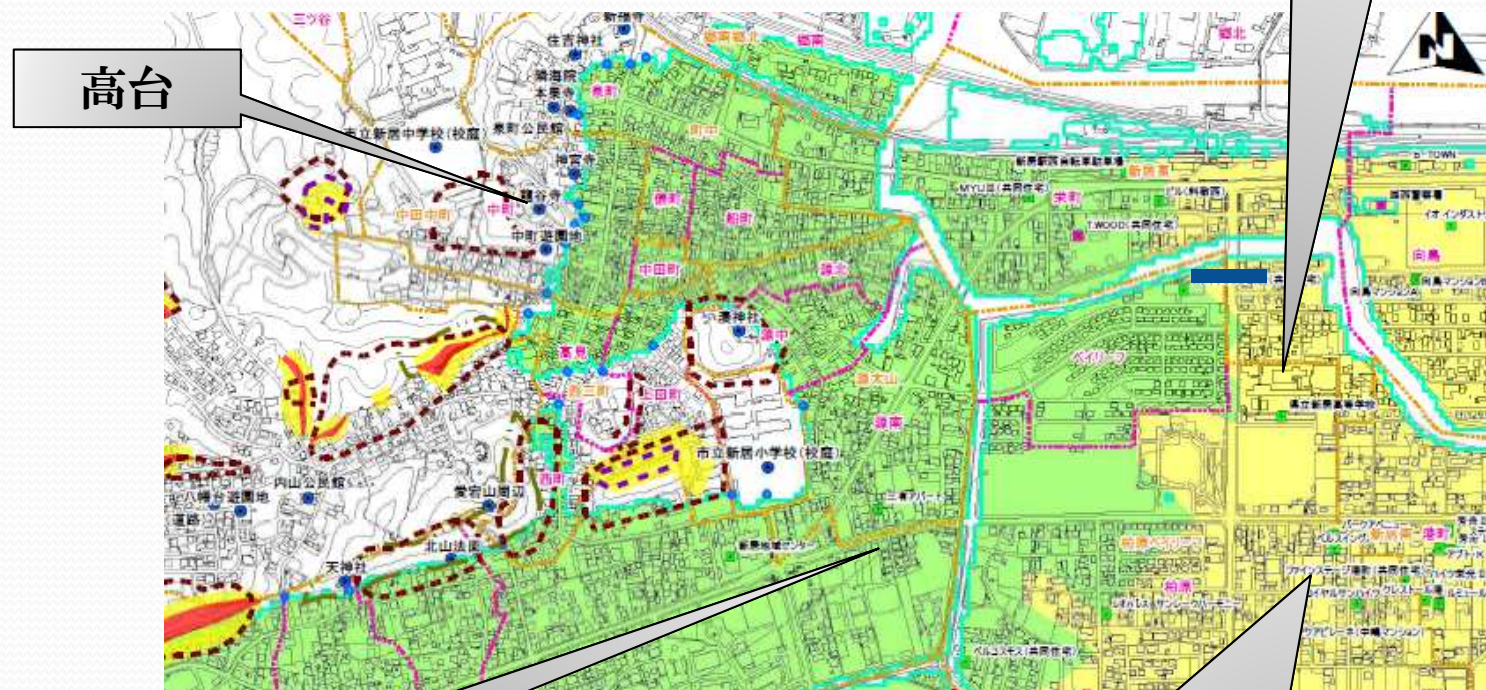
避難計画(レベル2)コンセプト①

	旧計画	新計画
計画範囲	安政東海地震(1854年)時の推定浸水範囲	静岡県第四次地震被害想定レベル2浸水想定範囲
	遠州灘海岸沿い及び浜名湖岸内一帯を含む広い範囲を計画範囲とする	白須賀地区と新居地区の遠州灘寄りで概ね東海道新幹線路よりも南側を計画範囲とする
避難行動基準	地震発生から4分後に避難開始	地震発生から5分後に避難開始
	避難速度は1.00m/秒	避難速度は0.62m/秒
	津波到達までに概ね960mの避難	津波到達までに概ね770mの避難

避難計画(レベル2)コンセプト②

	旧計画	新計画
避難範囲コンセプト	半径900m以内の避難場所に避難する	概ね770mの実歩行距離で避難範囲を計測
		避難は高台へ
		時間内に高台へ避難できない地域は津波避難施設を目指す
		津波避難施設は、たくさんの人を収容できる施設を目標とし、そこまで時間内に避難できない人は近くの小さな津波避難施設を目指す

避難範囲の検証



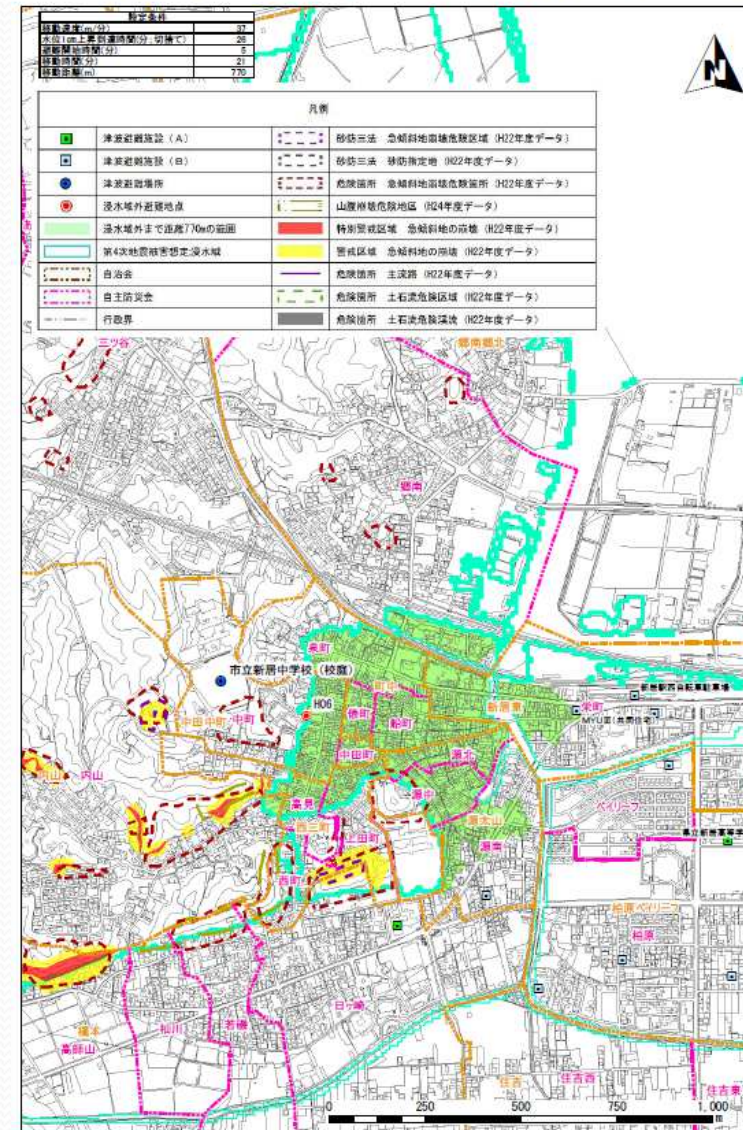
高台まで時間内に
避難できる範囲(緑)

高台まで時間内に避難できない
が、収容人数の多い避難施設
に避難できる範囲(黄)

避難可能範囲図

- 各高台や収容人数の多い津波避難施設ごとに、その地点までの避難が可能な範囲を示した。
- 高台など上がる地点が複数ある場合は、その地点ごとに作成
- 地区ごとに特定の避難経路で特定の避難場所へ避難するというコンセプトではなく、範囲図を見比べて、また実際に歩いて自分で考えて避難経路を作るというコンセプト

避難可能範囲 No. H06 市立新居中学校（校庭）



自分で作る避難経路

- 自分で街歩きをして避難路を作るための参考として…
 - ハザードマップ
 - レベル2の想定浸水深をカラーで色別表示
 - 避難場所やAEDの設置箇所も図示
 - 市内を5地区にわけて作成。裏面には市内全域が印刷されている
 - ハザードマーカー
 - 路面に埋め込む想定浸水深を表すマーカー
 - ハザードマップの想定浸水深に対応した同じ色が配色されている
 - 市内182箇所に設置
 - 大きさ:直径11.6cm セラミック製
 - 津波避難路 路面標示シート
 - 路面に張り付けてある高台や津波避難施設への入口方向を矢印で示すシート
 - 蓄光素材なので停電直後でも視認性が高い
 - 市内59箇所に設置
 - 大きさ:縦70cm×横50cm



今後の施策

- 津波避難施設空白域の解消
 - 津波避難施設空白域＝時間内に高台や収容人数の多い津波避難施設に避難することができない区域
 - 表浜沿いの新居地区の一部地域が該当
 - 西浜名自治会(松山町内会) 橋本自治会(高師山町内会/若磯町内会/日ヶ崎町内会) 住吉自治会(住吉西町内会/住吉東町内会)
 - 地元自治会・町内会・自主防災会の協力のもと、マウント(命山)、津波避難タワーの設置候補地を選定し、設置を検討する。
 - 3月18日に該当地区の自治会・町内会・自主防災会長へ説明を行い、協力依頼済